

Pleneau島

南緯65度06分 西経64度04分ーLemaire海峡南端Booth島東方



主な特徴

- 氷山と氷河の風景
- ゼンツーペンギン
- 氷河によって平坦になった台地



概要

地形	この島の長さは約 1.2km である。東岸の礫浜から、平坦な岩盤の台地が緩やかな上り坂となって、島の西側3分の2を占める、潜在的に割れ目を有する大きな万年雪へと続いている。
動物相	繁殖が確認されている種：ゼンツーペンギン (<i>Pygoscelis papua</i>)、ミナミオオセグロカモメ (<i>Larus dominicanus</i>)、ナンキョクオオトウゾクカモメ (<i>Catharacta maccormicki</i>)、ナンキョクアジサシ (<i>Sterna vittata</i>)、グアナイムナジロヒメウ (<i>Phalacrocorax atriceps</i>)。 上陸：ミナミゾウアザラシ (<i>Mirounga leonina</i>)、ウェッデルアザラシ (<i>Leptonychotes weddellii</i>)、ヒョウアザラシ (<i>Hydrurga leptonyx</i>) が沿岸部で観察できる。
植物相	コケ類の繁茂地、ダイダイゴケ種およびその他の地衣類、緑藻類のナンキョクカワノリ、冰雪草。

訪問者の影響

既知の影響	なし。
潜在的影響	野生生物への攪乱、植生の踏みつけ。

上陸要件

船舶*	乗客500名以下の船舶。1度に1隻の船舶に限る。1日あたり（午前0時から翌午前0時まで）3隻以内とする。
訪問者	探検ガイドとリーダーを別にして、常に上陸は1度に100名以内とする。訪問者20名あたりガイド1名。所定の宿泊滞在関係者を例外として、22時から4時（現地時間）の間は上陸できない。これは野生生物の休息時間確保のためである。

訪問者用地区

上陸地区	Booth島に面した島の東北東の端、大小の岩の上。
閉鎖地区	閉鎖地区A：島の北東突端のナンキョクアジサシの営巣地。 閉鎖地区B：島の北端のズグロムナジロヒメウの営巣地。
ガイド付き徒歩地区	なし。
自由散策地区	訪問者は自由散策が許されているが、監視下に限られ、また閉鎖区域は除外である。本地区の不規則な地形から、ガイドは、訪問者の監視の確保がかなり困難であることを承知しておくこと。

訪問者の行動規範

陸上での行動	南極訪問者のための一般ガイドライン（General Guidelines for Visitors to the Antarctic）に従って行動すること。アジサシ巣サイトは、閉鎖地区A外にある場合があるため、特に注意すること。
注意事項	氷床は分離していることがあるため、十分に経験を持ち、装備を備えた適切なガイドとともに訪れるべきである。

採択：2006年
最終改訂：2013年

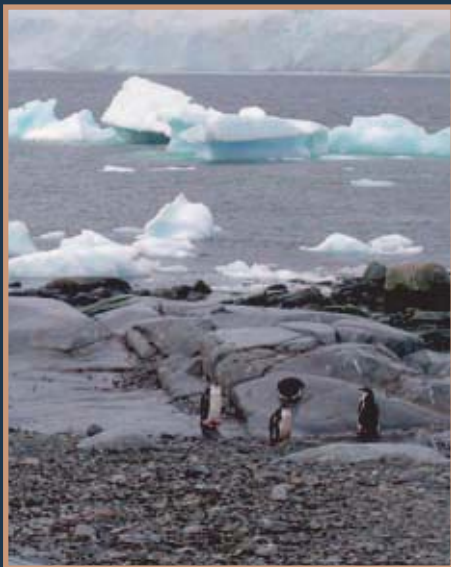
*：ここでいう船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。

Pleneau島

南緯65度06分 西経64度04分—Lemaire海峡南端Booth島東方



万年雪がPleneau島の3分の2を覆っている



自由散策地区は不規則な地形を特徴とし、ペンギンがあちこちに見られる

